

研修会報告

平成 29 年 6 月 28 日

文責：血液部門員 小野寺駿介

血液部門研修会

研修会テーマ「日当直検査に備えて～基礎編」

開催日時 平成29年6月24日(土) 14:00～17:00

会場 東北大学医学部保健学科大講義室

【講演・講師】

講演1. 「二級臨床検査士(血液)試験を受験して」

東北大学病院診療技術部検査部門 佐藤亜耶 技師

講演2. 「認定血液検査技師試験を受験して」

宮城県立がんセンター 臨床検査技術部 加賀淑子 技師

講演3. 「血算検査の見方・考え方(基礎編)」

講演4. 「凝固検査の見方・考え方(基礎編)」

東北大学病院診療技術部検査部門 菅原新吾 技師

生涯教育点数 専門20点

参加者 会員56名、非会員3名、実務委員7名、講師1名 計67名

【内容】

テーマを「日当直検査に備えて ～ 基礎編」として今年度第一回目の血液部門研修会を行った。前半は、二級臨床検査士(血液)試験および認定血液検査技師試験を受験し、資格を取得した技師の方々に、実際の試験の概要から試験内容までポイントを絞って講演していただいた。今後受験を控えている人あるいは受験を考えている人にとっても、とても参考になる内容であった。

宮臨技血液部門としても、これから専門資格取得を目指す人へ、何らかの形でサポートが出来る体制を整えていく事も大切だと感じた。

後半は血算および凝固検査のデータの見方・考え方とし、自動分析機の測定原理から誤差要因、さらには異常値を認めた際のデータの考え方についてなど、基礎的な内容について実際の症例を交えながら講演していただいた。データを見るうえで、分析過程の前後段階の管理を含めた総合的なデータ管理が非常に大切であると感じた。本日の研修会の参加者の中には、血液検査分野に専従ではなく複数の分野を兼務されている方や、日当直にしか血液検査に関わらないといった人も多くみられたが、そのような人にとっても今後のスキルアップに繋がる非常に参考になる内容であった。